

# 大学生ボランティアチーム

## 「ワクワク学び隊」派遣の成果と課題

～放課後子ども教室の充実・活性化に向けて～



### 1 大学生のボランティア活動への期待

#### (1) 大学生ボランティアの全国的動向

ボランティア活動の <b>体験</b> について	「ある」 <b>65%</b> ※社会福祉系学部、教育学部に多い	➡ <b>多くの学生が参加</b>
ボランティア活動の <b>きっかけ</b> について	「自発的な意思で」 <b>半数以上</b>	➡ <b>積極的に参加</b>
ボランティア活動の <b>満足度</b> について	「満足している」 <b>65%</b> ※理由「楽しかった」「ものの見方、考え方が広がった」「友人や知人を得ることができた」	➡ <b>楽しんで参加</b>

独立行政法人日本学生支援機構「学生ボランティア活動に関する調査」(平成17年)より抜粋

## (2) 大学生のボランティア活動が求められる背景

平成7年 阪神・淡路大震災  
平成23年 東日本大震災

多くの学生が駆けつけた

### 審議会答申等では・・・

平成14年中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」

平成14年文部省大学審議会中間まとめ「21世紀の大学像と今後の改革方策について 競争的環境の中で個性が輝く大学」

単なる奉仕ではなく、教育経験としてボランティア活動を見直す傾向が年々顕著になっている

## (3) 大学教育が抱える現代的課題

### 即戦力になる人材の育成

・講義・大学生活の中では十分経験できない活動を補う方法・連携先を大学が求めている。

・**大学外**の場(社会)で学生が**主体的に、自ら望んで活動することにより得られる力とは何なのか**を明らかにしてほしい。

注目

## 2 大学生ボランティアチーム 「ワクワク学び隊」派遣事業の概要

### 県内の放課後子ども教室の現状

地域のボランティアの協力を得て実施

(活動内容: 勉強, スポーツ, 伝統的な遊びの体験, 高齢者との交流)

**課題**

地域によっては、ボランティア  
の確保が難しい

大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」を派遣

放課後子ども教室推進事業

### 大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」の派遣

#### 放課後子ども教室 (市町)

- 学びの場**  
予習や復習、補習等の学習活動
- 体験の場**  
スポーツや文化活動等の体験活動
- 交流の場**  
地域の大人や異年齢の子どもとの交流活動
- 遊びの場**  
お手玉、けん玉、折り紙などの様々な遊び

要望

派遣

#### 大学生ボランティアチーム 「ワクワク学び隊」 (広島県教育委員会)

##### <ねらい>

- ・放課後子ども教室の活動内容を充実・活性化
- ・大学生の社会貢献活動への参加を支援

<メンバー>  
県内の大学生

<チーム>  
23チーム(平成25年2月15日現在)

<活動内容>  
実験、観察、工作など

## 平成24年度「ワクワク学び隊」登録・派遣状況

<平成25年2月15日現在>

### ○「ワクワク学び隊」登録状況

☆10大学 23チーム 352名

### ○市町への派遣状況

☆128件(16市町)



### 事後アンケート(3段階評価)から

活動に満足している(学生)	84%
活動に満足している(市町教室関係者)	95%
今後も教室で活動したい(学生)	97%
今後も教室に大学生を受け入れたい(市町教室関係者)	99%

### 3 問題意識①

業務を進める中で…

大学生の成長が見落とされがち

注目



大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」の活動をと  
おして、大学生自身の**身についた力**についてア  
ンケート結果を基に考察し、放課後子ども教室の充  
実・活性化を図るための改善方策を検討したい。

### 問題意識②

マッチングを進める中で…

登録チーム数を増やしたい

注目



県内の大学にも、より積極的にこの事業への参加をア  
ピールしていく必要性があり、事業説明する際の説明  
材料がほしい。

## 4 アンケート調査の自由記述から見る 大学生の成長

本事業において、ボランティアとして活動した大学生の  
身についた力をどう検証・分類するか？



### 「社会人基礎力」を指標に検証してみる

・社会人基礎力とは・・・

経済産業省が大学新卒者に望む基礎的な力として提示しているもの。多くの大学が、学生に習得させたい力の指標として参考になっている。

学校法人河合塾「体系的な「社会基礎力」育成・評価モデルに関する調査・研究実施報告書

## 社会人基礎力

### 前に踏み出す力 (アクション)

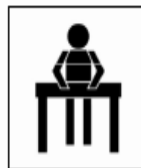
～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



**主体性**  
物事に進んで取り組む力  
**働きかけ力**  
他人に働きかけ巻き込む力  
**実行力**  
目的を設定し確実に行動する力

### 考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



**課題発見力**  
現状を分析し目的や課題を明らかにする力  
**計画力**  
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力  
**創造力**  
新しい価値を生み出す力

### チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



**発信力** 自分の意見をわかりやすく伝える力  
**傾聴力** 相手の意見を丁寧に聴く力  
**柔軟性** 意見の違いや立場の違いを理解する力  
**状況把握力** 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力  
**規律性** 社会のルールや人との約束を守る力  
**ストレスコントロール力** ストレスの発生源に対応する力

経済産業省「社会人基礎力とは」

## 分析の手法

- ・社会人基礎力としてあげられる3つの能力, 12の要素にしたがって、学生の自由記述アンケートの内容を定性的に分析



- ・あらかじめ12の要素につながる**キーワードを想定**しそれに当てはまる自由記述を抽出していく手法をとった。

## 分析結果

事業全体を通じ、12の要素に該当する**すべての力が育っている**ことを確認できた。

「社会人基礎力」のキーワード①:前に踏み出す力

**前に踏み出す力(アクション)**

→子どもたちのために何かしたい

主体性	○活動を広めたい。 ○将来に必要な力を身につけたい。
働きかけ力	○子どもへの働きかけ。 ○子どもへのかかわり。
実行力	○考えていたことができた。

**主体性**

(◇学生, ☆教室スタッフ)

◇たくさんの子どもたちにヒップホップの楽しさを広めたい。

◇大学では子どもと触れ合う機会があまりないので,このようなボランティア活動を通して,子どもとの関わり方など小学校教員に必要な力を身につけたい。

☆事前に活動案を作成し,熱心に子どもたちに各国の子どもたちの様子を教えてくれた。

☆毎回1時間ぐらい前から来て,打ち合わせをし,ピアノの練習などをして,子どもたちが楽しく活動できるように考えてくれている。



**学生が目的を持ち,自ら進んで活動に取り組む力**



「社会人基礎力」のキーワード②: 考え抜く力

考え抜く力(シンキング) →課題を解決して、よりよい活動にしたい	
課題発見力	○よりよい活動をしたい。
計画力	○今後の活動を考えたい。
創造力	○参考にする。 ○臨機応変に対応する。

### 課題発見力 (◇学生, ☆教室スタッフ)

◇子どもたちの注意を一気に引き付けるような働きかけ, 声かけの仕方や活動の時間配分等の課題が見つかった。

◇今年度初めての教室で, 準備が不足していたため, 次回はしっかりと準備して臨みたい。

☆ゲームの説明を実際に行ってみて, どこでつまずくのが分かった。



次回の活動にいかすため, ここを改善しよう, ここを工夫しようと課題を明らかにする力

「社会人基礎力」のキーワード③: チームで働く力

**チームで働く力(チームワーク)**

→チームのメンバーと活動の目標に向けて協力したい。

発信力	○伝える。○説明する。
傾聴力	○アドバイス、意見を取り入れる。
柔軟性	○相手の希望を取り入れる。
状況把握力	○状況を把握し、臨機応変に行動する。
規律性	○社会のルールを守る。
ストレス コントロール	○困ったことが起きた時に適切に対応する。

**発信力**

(◇学生, ☆教室スタッフ)

◇私たちのサークルには、毎年、ダンス未経験の1年生が入ってきます。子どもたちもダンス初心者が多く、「教える力」をこの機会を通して身につけることができる。

◇工作の過程を説明する際、低学年の子どもと高学年の子どもとでは伝え方を変えなければ理解してもらえないこともあるということに気づかされた。

☆丁寧な指導で、子どもたちにわかりやすく指導してもらった。



**子どもたちに活動の内容や方法を説明したり、指導する力**

## 5 今後の課題 ―むすびにかえて―

### ・複数回のマッチング(学びの機会の提供)

★ ステップアップをめざして

### ・大学生を支える教育的支援

★ 県からの教育的支援

★ 市町からの教育的支援

### ・大学生を支える教育的支援

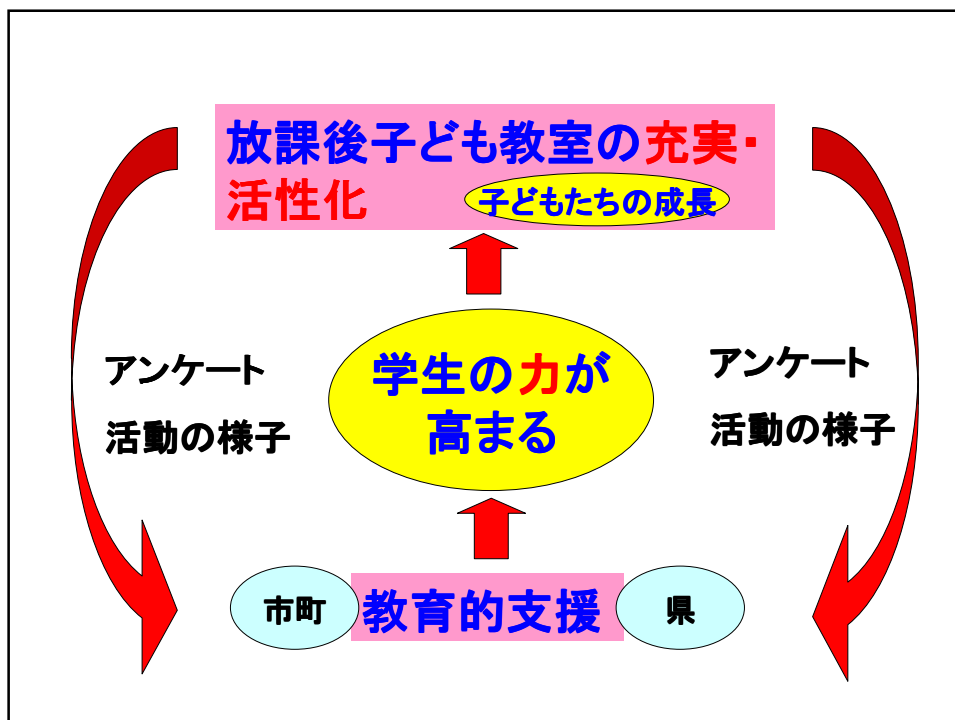
#### ★ 市町からの教育的支援

- 十分な事前打ち合わせ
  - 安心して活動
  - 活動内容の工夫
- 活動中の子どもへ支援
  - 必要に応じた声かけ  
(子どもへ・学生へ)
- 学生へのアドバイス
  - 活動に対する評価
  - 今後の活動へ向けてのアドバイス

## ・大学生を支える教育的支援

### ★ 県からの教育的支援

- 活動の場の提供
  - ➡ マッチングを進める
  - ➡ 放課後子ども教室の受入れを進める
- 学生へのアドバイス
  - ➡ 活動内容をアドバイス
  - ➡ 「ワクワク学び隊」実践交流会の開催
- ホームページによる情報提供
  - ➡ 活動の様子
  - ➡ 取り組みの様子



広島県立生涯学習センターホームページ「ばれっとひろしま」のトップページから

県立生涯学習センター事業のご案内

市町職員等研修

県内各市町の生涯学習・社会教育関係職員等を対象とした業務経験に応じた研修を実施するほか、社会全体の教育力向上をめざした指導者養成や研修を実施します。

詳しくは  
こちらから

家庭教育支援

家庭教育はすべての教育の出発点。親子関係や家族関係をより豊かなものにしていくきっかけづくりのために「親の力」をまなびあう学習プログラムを活用した講座を県内各地で開催し、家庭教育を支援します。

詳しくは  
こちらから

「親の力」をまなびあう学習プログラム (通称：親プロ)

子育て段階に応じたワークシートを活用し、子育てについて楽しく語り合う中でお互いの不安や悩みを共感しながら自らの子育てを振り返ることができるプログラムです。

ワークシートのダウンロードはこちらから



地域の教育力向上 (放課後子ども教室)

放課後や週末において地域社会全体ですべての子どもたちの安全で安心な活動拠点づくりを行う「放課後子ども教室」の取組が進んでいます。

詳しくは  
こちらから

大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」

県内各放課後子ども教室において子どもたちに豊かな体験活動を提供する大学生のボランティアチーム「ワクワク学び隊」が活躍しています。

詳しくは  
こちらから

ここをクリック！！



ご清聴、ありがとうございました

## 参考資料

- ①全国学童保育連絡協議会編集「よくわかる放課後子どもプラン」2007年4月。
- ②財団法人内外学生センター「大学とボランティア スタッフのためのガイドブック」平成13年2月。
- ③佐々木正道「大学生とボランティアに関する実証的研究」2003年6月。
- ④独立行政法人日本学生支援機構「学生ボランティア活動に関する調査報告書」平成18年3月。
- ⑤広島県民ボランティア活動推進会議「学生と地域をつなげる絆づくり事業 学生の地域活動応援プロジェクト活動報告書 平成23年度」2012年3月。
- ⑥日本社会教育学会年報編集委員会「学校・家庭・地域の連携と社会教育」2011年9月。
- ⑦学校法人河合塾「体系的な「社会基礎力」育成・評価モデルに関する調査・研究実施報告書 平成23年2月。
- ⑧青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について(答申)  
([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1287510.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1287510.htm):2012年11月25日)
- ⑨日本経済新聞「大学生のための社会基礎力特集サイト」  
(<http://ps.nikkei.co.jp/kisoryoku/about/index.html>:2013年2月5日参照)。